

# Mobility Innovation Week Japan 2023

## 報告書(概要版)

## 1. はじめに

本報告書は、会員間の情報共有を目的に、2023年11月14日～17日に実施された Mobility Innovation Week Japan 2023 について、その概要、プログラム、参加者、成果等を取りまとめた資料の概要版です。

Mobility Innovation Week Japan は、本法人の2023年度の取り組み方針のうち「④国際会議の企画・運営を通じた国際連携研究の促進」の実現を図るべく、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）、第1期「自動走行」および第2期「自動運転（システムとサービスの拡張）」の下で9年間にわたり開催され、国際的なネットワーキングの機会のある場としての位置づけが確立されていた SIP-adus Workshop のレガシーを承継し、新モビリティに関する国際連携研究の促進を図る目的で企画、開催したものです。

11月14日～17日にわたるプログラムでは、参加者が一同に会する全体セッション（Plenary Session）、専門家同士がテーマ別に分かれて集中的な討議を行う専門家ワークショップ（Breakout Workshop）、日本における新たなモビリティ導入事例、試験施設の現地視察（Technical Visit）、限定的な参加者による関連会議（Other additional meeting）が実施され、国外からの参加の59名を含む、148名の関係者が参加し、自動運転をはじめとする新たなモビリティについて、それぞれの取り組みの共有、技術面、制度面、社会面など多様な観点からの議論、新たな国際連携の可能性の模索が行われました。

なお、本報告書は本イベントで得られた知見を会員の皆さんと共有するために作成された報告書の概要版です。会員の方は、ウェブサイト会員専用ページにて詳細版をご確認ください。

2024年3月5日  
国際連携委員会 委員一同

## 2. Mobility Innovation Week Japan 2023 の目的・日程等

### (1) 目的

Mobility Innovation Week Japan は、2022 年度末で活動を終了した「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期「自動運転（システムとサービスの拡張）」の下で開催され、国際的なネットワーキングの機会としての位置づけが確立されていた SIP-adus Workshop のレガシーを承継しつつ、新たなモビリティに関する国際連携研究の促進を図る目的で企画、開催しました。

### (2) 全体日程

2023 年 11 月 14 日（火）～17 日（金）

日付	プログラム
11 月 14 日	全体セッション（Plenary Session）@東京大学浅野キャンパス武田ホール
11 月 15 日	参加者企画運営型専門家ワークショップ（Breakout Workshop） ・ BW1：協調型 Lv.4 自動運転モビリティサービス@東京大学柏キャンパス ・ BW2：安全性評価@つくば国際会議場
11 月 16 日	視察ツアー（Technical Visit） ・ 境町視察ツアー ・ 日本自動車研究所（JARI）視察ツアー
11 月 17 日	関連会議（Other additional Meetings） ・ 日独二国間会合 ・ 日欧二国間 ITS 協力会議

### (3) 参加者数

全体セッション	: 148 名（海外 59 名、国内 89 名）
専門家ワークショップ 1	: 73 名（海外 23 名、国内 50 名）
専門家ワークショップ 2	: 65 名（海外 30 名、国内 35 名）

### 3. 全体セッション

(1) 会場：東京大学浅野キャンパス武田ホール

(2) 参加者：海外11か国・地域からの専門家59名を含む148名が参加

(3) プログラム・登壇者：

時間	プログラム・登壇者
9:00 -9:45	開会／基調講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>・天野肇（モビリティ・イノベーション・アライアンス代表理事）</li> <li>・Andrea De Candido（欧州委員会 DG-RTD）</li> <li>・Gregory D. Winfree（Texas A&amp;M Transportation Institute、元 US-DOT 高官）</li> </ul>
10:00 -11:30	日本セッション <ul style="list-style-type: none"> <li>・須田義大（モビリティ・イノベーション・アライアンス副理事長，東京大学教授）</li> <li>・デジタル庁、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省道路局、物流・自動車局</li> <li>・石田東生（SIP 第3期スマートモビリティプラットフォームの構築プログラムディレクター，筑波大学名誉教授）</li> </ul>
11:30 -12:50	昼食・スポンサーセッション
12:50 -14:20	セッション1：社会課題に向けたモビリティ・イノベーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデレータ：三好博昭（モビリティ・イノベーション・アライアンス，同志社大学教授）</li> <li>・欧州：Bart van Arem (Prof., TU Delft), Matthias Hein (Prof., TU Ilmenau)</li> <li>・米国：C. Y. David Yang (President and the Executive Director, AAA Foundation for Traffic Safety)</li> <li>・日本：井上秀雄（神奈川工科大学特任教授）</li> </ul>
14:35 -16:05	セッション2：全ての人たちへの持続的な移動サービスの提供に向けたモビリティ・イノベーション <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデレータ：梅田学（モビリティ・イノベーション・アライアンス，東京大学）</li> <li>・欧州：Henriette Cornet (Thematic Area Leader Automated Mobility, UITP), Lars Abeler (Project Manager autonomous driving, DB Regio Bus), Anna Anund (Research Director, VTI)</li> <li>・米国：Habib Shamskhov (President, Advanced Mobility Group)</li> <li>・日本：佐治友基（BOLDLY 代表取締役社長兼 CEO）、谷口綾子（筑波大学教授）</li> </ul>
16:20 -17:50	セッション3：パネルディスカッション モビリティ・イノベーションにより目指す将来 <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデレータ：大口敬（モビリティ・イノベーション・アライアンス，東京大学教授）</li> <li>・パネリスト：Stefan de Vries (Project Manager, IDIADA), Stephane Dreher (Senior Manager CCAM, ERTICO), Satu Innamaa (Principal Scientist, VTT), Timothy Haile (Executive Director, CCTA), 森川高行（モビリティ・イノベーション・アライアンス，名古屋大学教授）</li> </ul>
17:50 -18:10	特別講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌田実（日本自動車研究所 所長）</li> </ul>
18:10 -18:15	閉会挨拶 <ul style="list-style-type: none"> <li>・山本昭雄（特定非営利活動法人 ITS Japan 専務理事）</li> </ul>
18:15 -20:35	レセプション

#### (4) 開会・基調講演

- ・ モビリティ・イノベーション・アライアンス天野代表理事より開会挨拶が行われた。
- ・ 欧州委員会 (DG-RTD) Andrea De Candido 氏による基調講演として、欧州における自動運転を中心としたモビリティサービスの取り組みや今後のチャレンジ、国際協調の重要性についての話題提供が行われた。
- ・ Texas A&M, Gregory D. Winfree 氏による基調講演として、テキサス A&M 交通研究所の取り組み、モビリティの未来に対する研究についての話題提供が行われた。



天野代表理事



Andrea De Candido 氏



Gregory D. Winfree 氏

#### (5) 日本セッション

- ・ モビリティ・イノベーション・アライアンス須田副理事長よりセッション概要説明の後、デジタル庁、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省道路局、物流・自動車局より自動運転を中心とした日本の制度面、社会実装面での取り組みについて話題提供が行われた。
- ・ 「SIP 第3期スマートモビリティプラットフォームの構築」の石田PDより、4月から新たにスタートした「SIP 第3期スマートモビリティプラットフォームの構築」の取り組み概要について話題提供が行われた。



日本セッション登壇者

(6) セッション1：社会課題に向けたモビリティ・イノベーション

- ・ 社会課題解決をテーマに、日米欧の専門家から安全性評価に関する取り組み、道路インフラに関するイノベーション、デジタルツインを用いた都市モビリティの取り組み、先進安全装備による事故削減効果の研究について発表が行われた。



セッション1 登壇者

(7) セッション2：全ての人たちへの持続的な移動サービスの提供に向けたモビリティ・イノベーション

- ・ 持続的なモビリティサービスの提供をテーマに、日米欧の専門家から公共交通としての自動運転の実装に向けた取り組み、欧州での自動運転大規模実証プロジェクトの取り組み、自動運転実証実験を通じて得られた知見、Chat GPTやAIがもたらす影響、日本における自動運転ビジネスモデルの紹介、一般市民と専門家による自動運転車に関する評価の比較検討について発表が行われた。



セッション2 登壇者

(8) セッション3：パネルディスカッション

- ・ モビリティ・イノベーション・アライアンス大口理事をモデレータに日米欧の専門家とのパネルディスカッションが行われ、将来の持続可能なモビリティサービスの実装に向けボトルネックとなっている課題は何か、どのような研究に優先的に取り組むべきか等について専門家による議論が行われた。



セッション3 登壇者



会場の様子

(9) 特別講演

- ・ 日本自動車研究所の鎌田所長より、日本自動車研究所の概要と日本自動車研究所が取り組んでいる国家プロジェクトについて話題提供が行われた。



鎌田所長

(10) 閉会挨拶

- ・ 特定非営利活動法人 ITS Japan 山本専務理事より閉会の挨拶が行われた。



山本専務理事



参加者全員での記念写真

(11) レセプション

- ・ 立食形式でのレセプションが開催され、参加者間でのネットワーキングが図られた。



レセプション会場の様子

#### 4. 専門家ワークショップ I (Breakout Workshop I) : Cooperative Level4 Automated Mobility Services

- (1) 会場：東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト、東京大学柏キャンパス
- (2) 開会・紹介セッション
  - ・ 専門家ワークショップ全体の概要紹介の後、関係者からの挨拶が行われた。
  - ・ 柏の葉スマートシティの取り組みについて紹介プレゼンテーションが行われた。
  - ・ 柏の葉における自動運転バス実証実験について紹介プレゼンテーションが行われた。
- (3) 見学ツアー
  - ・ Aグループ、Bグループに分かれて、自動運転バスの試乗、柏の葉スマートシティの見学、走行中給電技術の実証実験見学が行われた。
- (4) デモ見学
  - ・ 東京大学柏キャンパス ITS R&R 実験フィールドにて、協調型路側機を用いたデモンストラレーションの見学が行われた。
- (5) 専門家ワークショップ
  - ・ 技術テーマと非技術テーマ（社会受容性、法律、ビジネスモデルなど）の2グループに分かれて、参加者からの取り組み紹介発表及びディスカッションが行われた。
- (6) レセプション
  - ・ 専門家間のネットワーキングを図るため、レセプションが開催された。

#### 5. 専門家ワークショップ 2 (Breakout Workshop 2) : Safety Assurance

つくば国際会議場を会場として、安全性評価をテーマにした専門家ワークショップが行われた。各国から 60 名を超える専門家が集まり、プレゼンテーション及びディスカッションが行われた。

## 6. 視察ツアー（Technical Visit）：境町

### （1）行程

時間	内容	場所
9:00	集合	東京駅
9:00-11:00	バス移動：東京駅→境町	（移動）
11:00-12:00	境町による歓迎式	境町役場会議室
12:00-13:00	昼食	
13:00-15:00	自動運転バスの試乗／遠隔監視センターの見学	境町町内
15:00-15:30	Auve Tech社自動運転車両 MiCa の試乗	
15:30-17:00	境町町内視察	
17:00-19:00	レセプション	レストラン：坂東離宮
19:00-21:00	バス移動：境町→東京駅	（移動）
21:00	解散	東京駅

### （2）境町による歓迎式

- ・ 境町役場会議室において、橋本町長による講演等、境町による歓迎式が実施された。

### （3）自動運転バスの試乗／遠隔監視センターの見学

- ・ 境町町内を走行する自動運転バス及び Auve Tech 社の MiCa の試乗が実施された。
- ・ 自動運転シャトルの運行管理を行っている遠隔監視センターの視察が行われた。

### （4）境町町内視察

- ・ 境町町内施設（アーバンスポーツパーク、人工サーフィン場）の視察が実施された。

### （5）レセプション

- ・ 境町町内のレストランにおいてレセプションが開催された。

## 7. 視察ツアー（Technical Visit）：日本自動車研究所（JARI）

茨城県つくば市にある日本自動車研究所つくば研究所において、自動運転評価拠点 Jtown 等の施設見学に加え、SAKURA プロジェクト、DIVP プロジェクト、AD-Urban プロジェクトの取り組み紹介等が実施された。

## 8. 関連イベント・会議

### (1) 概要

日時	イベント名称@実施場所
11月17日(金) 10:00-12:00	日独二国間会合@つくば国際会議場
11月17日(金) 15:30-17:30	日欧二国間 ITS 会議@ビジョンセンター有楽町 Bilateral Meeting between the EU and Japan on Automation in Road Transport

## 9. 参考資料、ウェブサイト

- ・ Mobility Innovation Week Japan 2023 ウェブサイト  
<https://mobilityinnovationalliance.org/mobiweekjapan2023/>
- ・ Mobility Innovation Workshop プログラム・リーフレット  
<https://mobilityinnovationalliance.org/mobiweekjapan2023/wp-content/uploads/2023/12/Plenary-program-final.pdf>

以上

**Mobility Innovation Week Japan2023 報告書(概要版)**

発行日 2024年3月5日  
事務局 一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス  
東京都目黒区駒場4-6-1  
<https://mobilityinnovationalliance.org/>